

2021年5月24日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

「最優秀 ETF 運用会社(日本)」など 3 部門で受賞

～ アジア金融専門誌「The Asset」が選出、日本および香港上場 ETF が「最も革新的な ETF」に～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、アジアの有力金融専門誌「The Asset」主催の「トリプル A アワード 2021」において、「最優秀 ETF 運用会社(日本)(Best ETF Provider, Japan)」並びに「最も革新的な ETF (Most Innovative ETF)」を日本と香港でそれぞれ受賞しました。「最優秀 ETF 運用会社(日本)」の受賞は、昨年に引き続き 2 年連続となります。2020 年(暦年)を評価期間とし、運用する ETF(上場投資信託)の商品性、企画力、投資啓蒙活動、イノベーション、リーダーシップ、運用パフォーマンスなどのさまざまな観点から総合的に評価され、選出されました。The Asset 主催の「トリプル A アワード」の受賞は、2017 年以来、3 度目となります。

今回の「最優秀 ETF 運用会社(日本)」の受賞の背景の一つに、日興アセットの国内 ETF(上場投資信託)の運用資産残高の総額が 2020 年 12 月末時点で、前年比 28%増の 11.1 兆円に拡大したことが挙げられます。また、評価期間の 1 年間において、日興アセットは東京証券取引所に 4 つの新しい ETF を上場し、コロナ禍においてもコロナ・ショック前から培ってきたノウハウを生かし、デジタルを活用した積極的なプロモーションを展開しました。

また、国内においては「最も革新的な ETF」として、2020 年 9 月 7 日に上場した「上場インデックスファンド日経 ESG リート(愛称:上場 ESG リート)」が選ばれました。「上場 ESG リート」は、日本経済新聞社が算出する「日経 ESG-REIT 指数」への連動を目指し、東京証券取引所に上場する REIT(リート)ETF の中では初*となる ESG のスクリーニングを取り入れた ETF です。昨今、不動産投資においても、投資家の皆さまが企業の持続的な成長力を判断するための指標として、気候変動、人権、その他社会的課題における非財務情報の重要性が高まっています。

*日興アセットマネジメント調べ

日興アセットの ETF 事業共同グローバルヘッドの有賀潤一郎は、「このたびは 3 部門で受賞でき大変光栄です。これは、ETF に対する機関投資家並びに個人投資家皆さまの変化するニーズに継続的に応えすべく、国内市場での継続的な取り組みおよび革新的な商品開発や販売をはじめ、積極的なプロモーション展開が寄与したものと考えます」と述べています。

さらに、香港においても「最も革新的な ETF」として、2020 年 6 月 15 日に香港証券取引所に上場した香港籍 ETF が選ばれました。当 ETF は、香港で最初**のアクティブ運用の株式 ETF であり、変動信託報酬型の ETF です。また、世界のゲーム人口の増加、5G およびその他移動体通信システムへのアクセシビリティ

ティの向上、コロナ禍で増えた在宅時間などに伴い近年飛躍的な成長を見せている E ゲーム関連企業に幅広く投資し、ポートフォリオを構築します。

**日興アセットマネジメント調べ

日興アセットマネジメント アジアにて ETF 事業共同グローバルヘッド 兼インターナショナル・プロダクト・ディベロップメント・アンド・マネジメントヘッドを務めるフィリップ・ヤオは、「E ゲームはアジアで急拡大している最先端の分野であり、この分野への積極的な投資は急速に成長し進化する業界で投資機会をつかむための鍵となります。これを変動信託報酬と組み合わせることで、付加価値を生み出し、長期的な投資を推進することができます」と述べています。

日興アセットは今回の受賞を励みとして、運用成績の更なる向上と競争力のある商品・サービスの提供に努めてまいります。

以上

「The Asset Triple A Awards (トリプル A アワード)」について

アジアの有力金融情報誌「The Asset」誌により選出される「トリプル A アワード」は、金融業界のさまざまな分野で優れた実績を誇る企業を表彰するものです。当アワードは、20 年以上の実績があり、「The Asset」誌の編集委員会が厳しい評価基準や調査機関により提供されたデータ分析に基づき審査し、企業の取り組みを総合的に評価し、選出しています。

「The Asset」誌の詳細については、同誌のウェブサイトをご確認ください。(英文)

<https://www.theasset.com/awards-single/asset-servicing-investor-fund-management>

■リスク情報

- 投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 上限3.85%(税抜3.5%)

換金手数料 上限1.1%(税抜1.0%)

信託財産留保額 上限0.6%

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬(年率) 上限3.045%(税抜2.95%)

一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他費用 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息、貸付有価証券関連報酬など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

※上記手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(当資料作成日現在)
- 上記に記載しているリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■その他留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが弊社の運用する投資信託についてお伝えすることを目的として作成した資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託をお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

60年に及ぶ実績を誇り、約30の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、約200名の運用プロフェッショナルが約29.4兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計400社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2020年12月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会